

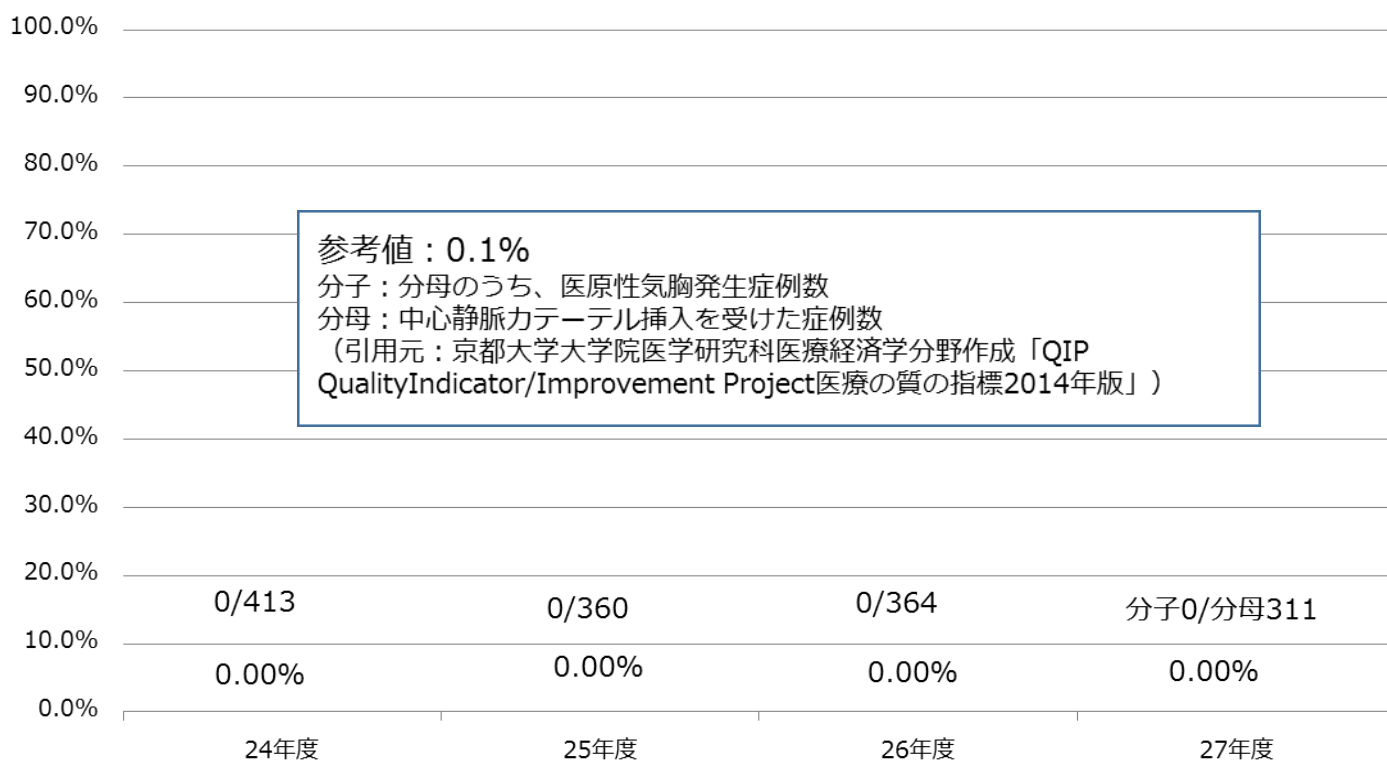
32 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

指標の解説

- 中心静脈カテーテルは高カロリー輸液、抗菌薬及び循環作動薬などの確実な微量持続投与を可能とし、全身管理に非常に有用である。
- 一方で、カテーテル挿入時及び留置期間中に重篤な合併症を引き起こす危険性が知られている。
- 合併症の頻度が低く保たれることは、医療安全に対する取り組みの質が高いと言える。

分子：医原性気胸発生症例数

分母：中心静脈カテーテルの挿入を受けた症例数



過去4年間において、中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸は発生していない。